



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第639号

2024年6月24日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

ガザ地区停戦のための陳情書が否決される

6月17日、総務常任委員会で、「ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書提出を求める陳情書」について討論されました。

今回の陳情書は他県に住む方からです。世界で痛ましい戦争が起きている中で居ても立っても居られなくて、自分にできることはないかと考えて行動に立ち上がってくれたのだと思います。

しかし、委員会では不採択になり、本会議に上げることができませんでした。憲法9条の下で活動しているとはとても思えません。

平和のためには積極的外交が問われている

パレスチナ自治区のガザの面積は長さ50キロ、幅5~8キロほどの細長い土地に200万人が住み、高さ8メートルの厚い壁(2007年~)で囲われ、イスラエル軍に完全に包囲され、人や物の出入りが厳しく制限され、NGOや国連の支援物資で命をつないでいます。

2023年10月7日のハマスによるイスラエルへの大規模攻撃、人質事件に対してイスラエルによる報復攻撃が始まりました。この攻撃は国際人道法(一般市民、学校や病院を攻撃しない)を無視したものであり、ジェノサイド条約をも無視したものです。

既に33,000人以上が犠牲になり、その内14,000人が子どもたちという異常さです。

国際司法裁判所はイスラエルに対してガザ地域への軍事作戦を停止するよう暫定的措置を命じています。

陳情書は、「ガザ地区に平和を求める世界各国の都市や議会、日本の地方議会とともに貴議会においてもガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書提出」を願うものです。



八千代市議会は議論がなく民主主義が機能していない

堀口議員、三田議員は「どちらの側が悪いと決めているわけではなく、戦争はいかなる理由でも平和に対する許せない行為である。対話・討論の放棄こそ戦争を作り出す。戦争を止めて平和を願う陳情は採択すべき。」と主張しました。反対者は最後まで黙したままで何も発言していません。

賛成は堀口、三田、飛知和議員3人。反対は大塚、末永、塚本議員3人。賛否同数で嵐委員長が反対し、不採択になってしまいました。

全国では300を超える自治体が停戦を求める決議を採択しています。

日本共産党は反戦平和のために頑張ります。